

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2025年4月25日
作成 高齢者支援センター	堺第2
作成者	井口由紀子

1.開催日時	2025年4月25日	(金)	10:30	～	12:00
2.会場	美郷会議室 Zoom(ハイブリッド)				
3.主催センター	堺2				
4.参加人数	18名				
5.参加者内訳	☒ 高齢者支援センター 3人 ☒ 医療と介護の連携支援センター 1人				
	☐ 医療関係者 人 (うち、医師 人) ☒ 介護事業者 14人				
	☐ 民生委員 人 ☐ 老人会 人 ☐ 住民 人				
	☐ 町内会自治会 人 ☐ 警察 人 ☐ 行政 人				
	☐ その他 ()				
6.開催テーマ	元気な今だから縁起の良くない話をしましょう				
7.地域課題	(1)課題設定の背景 2022年、身寄りの無い高齢者のケースから自己決定支援について検討を重ね、2023年、専門職向けにもしバナゲームをツールにACPを学ぶ。2024年、ACPについて専門職の視点と地域住民の思いや考えを共有、前回の地域ケア会議で「わかりやすい、手に取りやすい資料(チェックシート)」が完成したが、会議参加者以外はACPを知らずACP取り組みへの意識ができていない。 (2)検討した地域課題 地域には、ACPを知らない人も多く、知っている方でもACPと終活を混同してしまうなど正しい理解が得られていない。会議で作成したチェックシートを用いてACPの正しい理解の促進や地域内の専門職、地域住民への周知が必要である。				
8.医療と介護の連携に関する課題	人生の最終段階において本人の意向(推定意思を含む)と最善の利益を尊重した医療・介護が行われるよう医療を含めたケアチーム間でチェックシートの周知が必要である。				
9.会議の内容	1.ACPについて:ACPの正しい理解の促進とチェックシートの説明を行い、ケアマネジャーが担当する利用者、家族への周知に向けACPについて学びを深めた。 2.私の思い手帳とチェックシートを用いた専門職としての周知の検討:チェックシートを手軽に手に取ってもらい、利用者本人が積極的に関わっていくことの大事さをケアマネジャーにも理解してもらい、ケアマネジャー自身が自分ごととして意識を持つことができ、ACPの周知に向けた支援の必要性を感じてもらうことができた。 3.グループワーク:「私ならここを気をつける」:チェックリストを使って利用者への対応をする場合、いづどこで、何に気を付けて実践するかを話し合いグループワークを行った。各グループからの発表によりACPのタイミング:アセスメントやモニタリング時、元気な時やちょっと具合が悪くなった時等。気を付けること:信頼関係、ケアマネジャーだけでなく医療含む多職種でチェックシートを使って実践することが共有された。				
10.課題に対する対応策・今後の地域での展開	地域のケアマネジャーは今後利用者がACPを取組む為にチェックシートを使って周知し実践していく。ケアマネジャー以外の専門職機関である地域の医療機関、薬局、訪問看護ステーションへは、チェックシートの周知目的の会議形態をとるのではなく、支援センターが1件ずつ挨拶と説明をし、チェックシートの配架の協力依頼を行い地域内へACPチェックシートの普及啓発を行う。				
11.その他					

医療と介護の連携支援センター 確認日	5月 1日
--------------------	-------